

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校

2019. 1. 24

第18号

いきいき なかよく ほこりを持って

スキーで体力づくり 雪国の文化としても大切に



3学期は体育の時間を中心に、「スキー」への取り組みを行っています。大きく分けると、学校のグラウンドや手ノ子スキー場で行う「アルペンスキー」と、学校のグラウンドや周辺の田んぼで行う「クロスカントリースキー」に取り組みます。

アルペンスキーとクロスカントリースキーは道具も滑っている場所も違うので、まるで別のもののように感じますが、実はスキーの基本は共通しています。スキーの板には、ここにしっかり乗るとバランスよく滑ることができるし、操作もしやすいという「センター」があります。アルペンもクロカンも「センターに乗る」のが基本。上手くなるために大変重要です。クロスカントリースキーは、自分の動きでスキーを滑らせる場面が多いので、運動量も多く体力づくりに効果的です。アルペンスキーは「斜面に沿った落下運動」という特性があり、滑るスキーをコントロールする面白さがあります。

もちろん、スキーは「運動」「スポーツ」ですが、雪国にとっては、大切な「文化」でもあると考えています。とかく、雪国では、雪がもたらす大変さばかりを感じがちですが、厳しい環境の中に「楽しみ」もあるということを感じてほしいのです。そして、スキーを通じて、友達や仲間との交流を図り、つながりをつくってほしいと思います。子どもの頃から遊びの一つとして経験しながら、生涯にわたってスキーを楽しむ人になってほしいものです。

近年、スキー人口が減少しています。リフト乗車の際も、昔のように並んで待つことはほとんどありません。その原因の一つに、大人がスキーをしなくなったということもあるそうです。確かにお金がかかりますし、休みの日ぐらい、家でのおんびりしたいというのわかります。しかし、子どもだけでスキー場に行くことはできないので、ご家族の協力は不可欠です。保護者の皆さんも昔を思い出してぜひスキーをしてみてください。子どもと一緒に滑ると楽しいですよ。それに、良い運動にもなりますから。お父さん、お母さんが好きなことは、子どもも好きになります。



団子の木

「団子の木」は、小正月の伝統的な行事で、「豊作」「一家繁栄」「豊かな暮らし」を願うものです。昔は、1月15日の朝に餅をつき、お重ねを作ったそうです。その後、いわゆる「くず米」で餅をつき、それをミズキの枝に刺して、更に「ふな煎餅」をぶら下げて飾ったとのこと。たとえ「くず米」でも無駄にしない昔の人々の考え方を垣間見ることができます。

1・2年生の子ども達が、生活科の時間に「だんごさげ（団子の木）」をしていました。行事の意味ややり方を先生に聞きながら楽しそうに活動していました。地域での生活でも、行事に込められた意味や昔の人たちの思いを考えながら、様々な行事に参加させたいものです。きっと子ども達が大人になって次の世代の子ども達に伝えてくれることでしょう。



みんなでインフルエンザ対策を

県内に警報発令！

全国的にインフルエンザが猛威を振るっています。飯豊町の学校でも、子どもが罹患したり、教職員が罹患したりしているようです。添川小学校では今のところ罹患者はいませんが、掲示での注意喚起、手洗い・うがいの励行、加湿、換気、お茶うがい、マスクの着用などの手立てを取っています。ただ、子どもも大人も様々なところに行きますし、色んな交流がありますので、どこで感染するかわかりません。



みんなで予防することが何より大事ですので、ご協力をお願いいたします。以前テレビで小児科のお医者さんが、診察の間傍らにペットボトルのお茶を置き「15分おきに2口飲む」というのを紹介していました。喉に付いたインフルエンザウイルスが細胞の中に侵入するのに約20分かかるので、15分おきに飲み物で洗い流すのだそうです。胃に入ったウイルスは胃酸により死滅するとのことでした。なるほどですね。やれるだけの手立てで、できるだけ感染を予防していきましょう。

2月の予定

1	金	全校スキー	11	月	建国記念の日	21	木	ALT
2	土		12	火	職員研修会	22	金	B日課・参観日・懇談会 PTA 全体役員会
3	日		13	水	全校算数テスト 全校スキー	23	土	
4	月	一日入学	14	木	ALT	24	日	
5	火	委員会活動	15	金	壮行式	25	月	
6	水		16	土		26	火	委員会活動
7	木	ALT	17	日	町民スキー大会	27	水	通学班長会
8	金	PTA 役員選考会	18	月		28	木	ALT 学校評議員会
9	土		19	火	NRT (国・社)			
10	日		20	水	NRT (算・理)			